

「幼穂の長さ」と「葉の色」を確認しましょう！

今年は比較的穏やかな気象条件に恵まれ、葉の色は淡いものの生育は順調に推移しています。

コシヒカリは、穂を作る重要な生育時期を迎えており、管理の中でも特に重要な「穂肥」の散布時期が近づいています。稲の生育状況を必ず確認して、「散布時期」と「施肥量」を適切に判断してください。

また、数日おきに田んぼを適度に干す「間断かん水」の時期は、終盤を迎えています。今後は、「飽水管理」に移行しましょう。

1 7月8日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点ほ場12地点平均、移植日平均5/10)

●草丈「並」、茎数「並」、葉数「やや多」、葉色「淡い」

区分	本年値	目標値
草丈	59 cm	60 cm
茎数	498 本/m ² (30 本/株)	484 本/m ²
葉数	11.2 枚	10.8 枚
葉色 (SPAD)	33.2	36.6

2 コシヒカリの管理ポイント

- (1) 1か月予報 (2026年7月2日発表) によると、今後1カ月の気温は平年より高め推移し、平年と同様に曇りや雨の日が多くなる見込みです。また、期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いと予想されています。
- (2) 穂肥は、分施の場合でも一発基肥の場合でも、葉の色が淡い場合は施用することが重要です。「佐渡米カレンダー7月」のページを参考に、ほ場の生育状況をよく確認したうえで、適切な施用時期と施用量を判断してください。
- (3) 間断かん水は、出穂期の1か月前を目安に終了し、その後は飽水管理に移行しましょう。足跡や溝に常に水が残る程度を目安に、こまめな入水を心掛けてください。

【用水は限りある資源です。地域で話し合い、公平に使用しましょう！】

農作業時はこまめな水分補給・休憩で熱中症を予防しましょう

次回の発行は、7月21日頃を予定しています。